



2008年度 第2四半期決算説明会

2008年 11月14日

ユニチカ株式会社



2008年度 第2四半期決算の概要

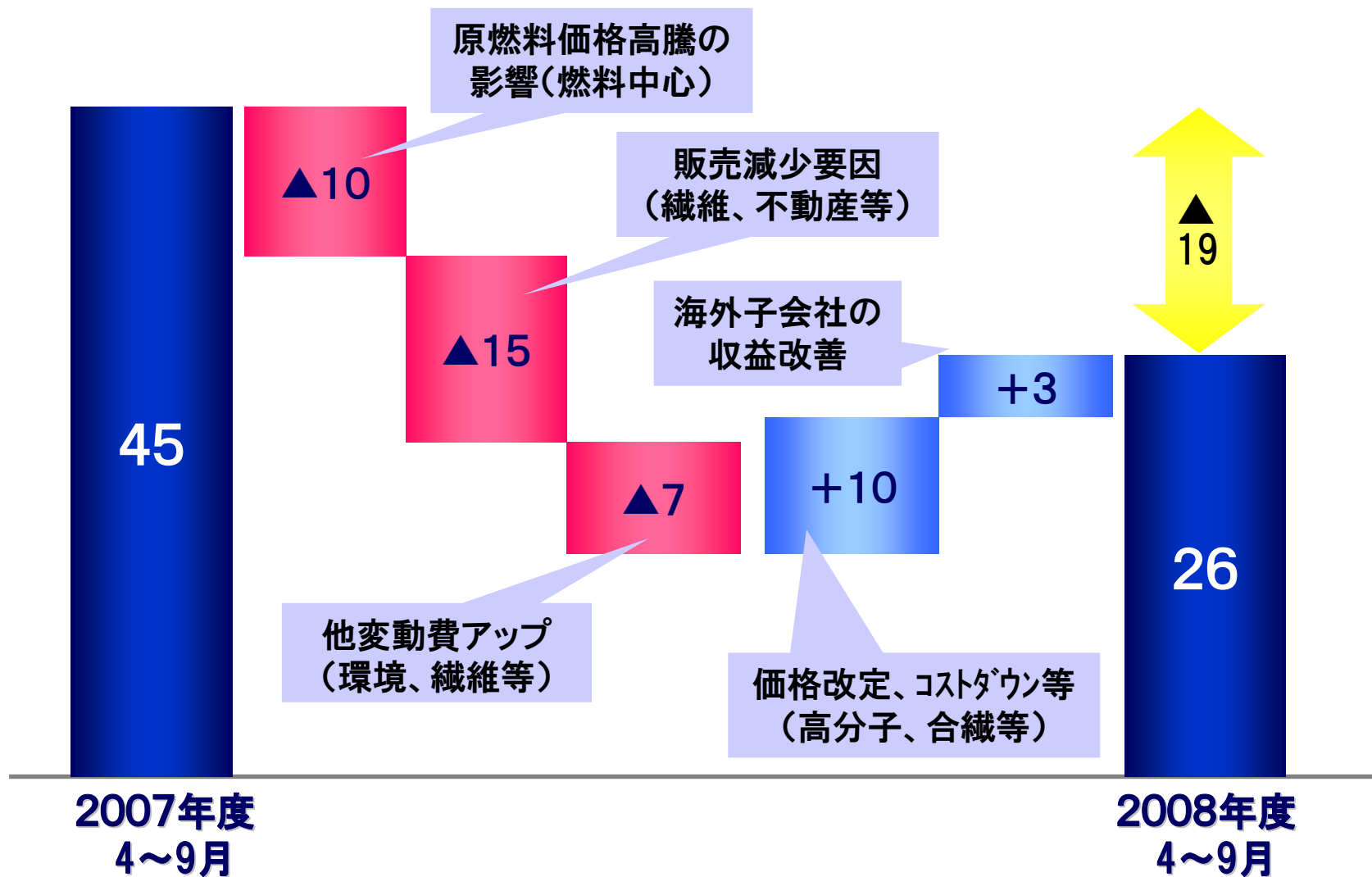
(金額単位:億円)	2008年度	2007年度	前年同期比増減	
	4~9月	4~9月	金額	率(%)
売上高	1,079	1,117	▲ 38	▲3.4
営業利益	26	45	▲ 19	▲42.6
経常利益	12	31	▲ 19	▲60.5
四半期純利益	5	17	▲ 12	▲69.8

◆原燃料価格の更なる高騰、景気悪化等の影響により、前年同期比減収減益（繊維事業、環境事業を中心に収益減）

◆高分子事業はフィルム分野での収益改善等により増収増益

営業利益の増減要因分析

(単位:億円)



B/Sの状況

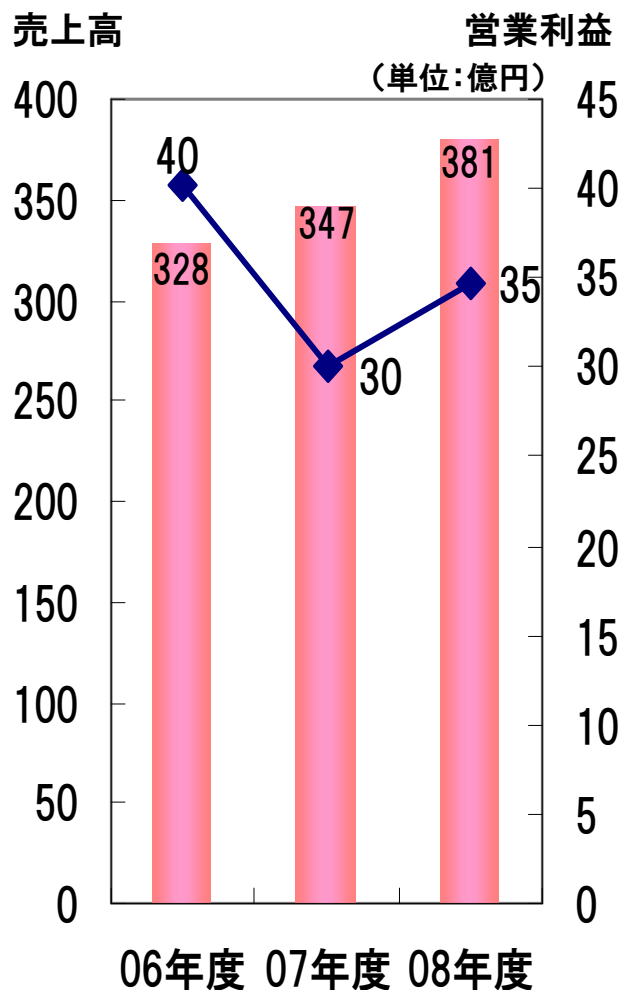
(単位:億円)		2008年 9月末	2008年 3月末	前期末比 増減	
資産合計		3,051	3,090	▲ 40	主に売上債権の減少によるもの
流動資産		1,282	1,338	▲ 56	主に買掛債務の減少によるもの 有利子負債は微減少(▲3)
固定資産		1,769	1,753	+16	
負債合計		2,687	2,707	▲ 19	
純資産合計		363	384	▲ 20	在外子会社の会計処理の統一による土地再評価差額金取崩し
株主資本		321	326	▲ 5	子会社株式追加取得による少数株主持分の減少等
評価・換算差額等		4	10	▲ 6	
少数株主持分		38	48	▲ 9	

セグメント別 収益変動まとめ

	売上高			営業利益		
	2008年度 4～9月	2007年度 4～9月	増減	2008年度 4～9月	2007年度 4～9月	増減
(単位:億円)						
高分子	381	347	+34	35	30	+5
環境・機能材	144	145	▲ 1	2	7	▲ 5
繊維	476	518	▲ 42	▲ 2	7	▲ 9
生活健康・その他	78	107	▲ 29	3	11	▲ 8
消去・全社				▲ 11	▲ 10	▲ 1
合計	1,079	1,117	▲ 38	26	45	▲ 19

セグメント別 収益変動

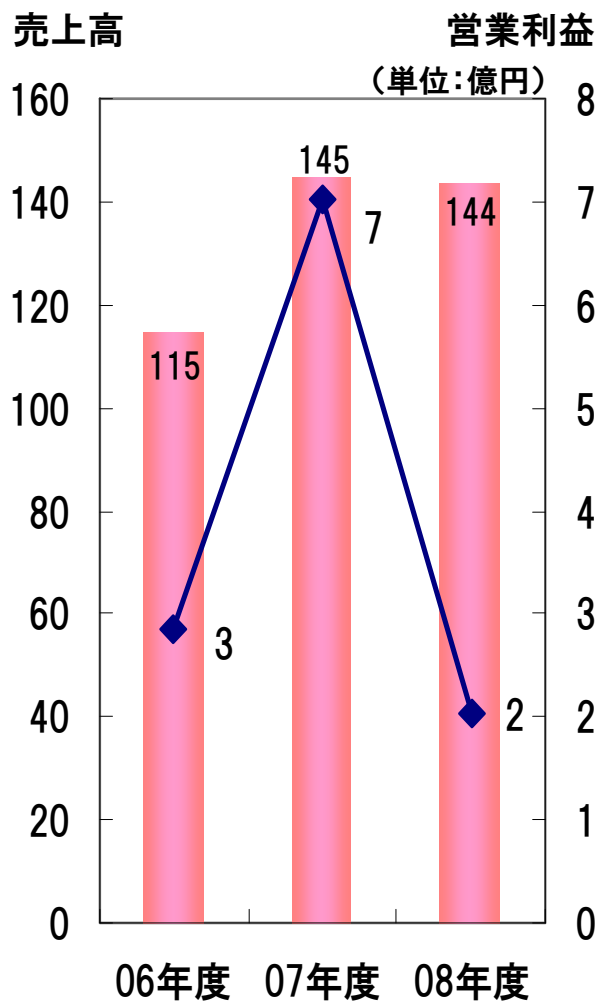
高分子事業



フィルム	増収 増益	<ul style="list-style-type: none"> ◆国内ナイロンフィルムの販売横ばい 価格改定の進捗で採算改善 ◆ポリエステルフィルムは包装・工業用ともに増販で収益改善 ◆海外ナイロンフィルムの子会社の収益改善（インドネシア、中国）
樹脂	増収 利益 横ばい	<ul style="list-style-type: none"> ◆自動車用途が伸び悩みナイロン樹脂の販売横ばい、価格改定により採算は若干改善 ◆ポリエステル樹脂は増収も価格改定が十分進捗せず採算悪化 ◆ポリアリレート樹脂は高付加価値分野を中心に伸長
不織布	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆スパンボンドは自動車、建設・工事資材の需要低迷で販売数量減少 価格改定が十分進捗せず採算悪化 ◆綿スパンレースは化粧雑貨用途を中心に堅調に推移

セグメント別 収益変動

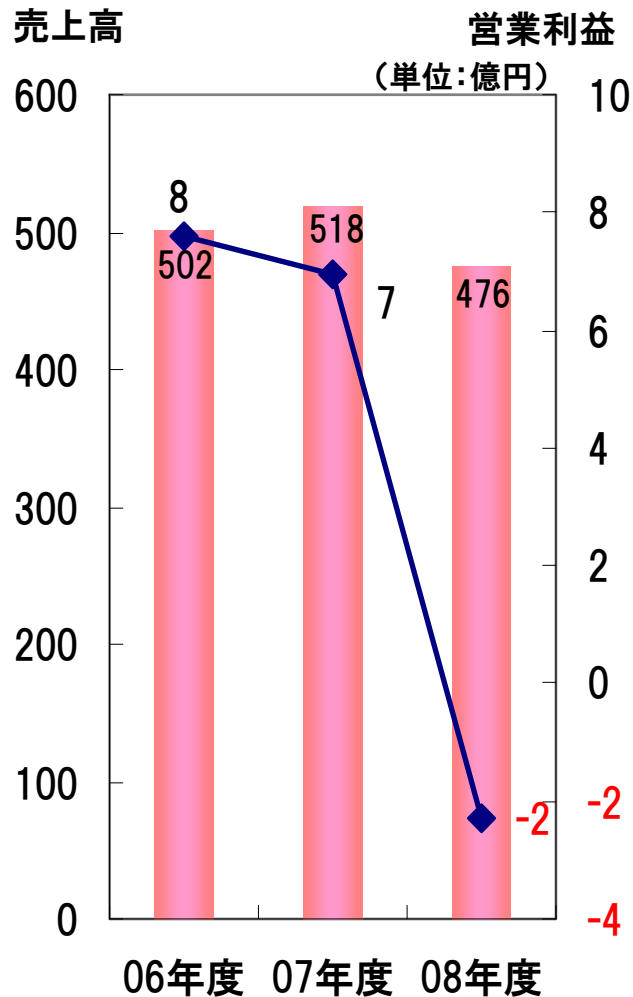
環境・機能材事業



環境	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 廃棄物処理分野の受注残案件の進捗による増収要因もあったが、全体的に自治体の事業発注量の低迷により売上が減少 ◆ 業界内の競争激化や資材高騰等の影響により採算悪化 ◆ メンテナンス分野、薬剤・民間水処理分野も苦戦
機能材	売上 横ばい 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 活性炭繊維が廃液浄化用等で伸長 ◆ これまで堅調だった産業資材向けのガラス繊維が建設・工事用途の低迷の影響で収益減 ◆ ICクロスは電子部品業界の市況悪化の影響を受ける ◆ 高品位ガラスビーズ、反射材関連は堅調に推移し収益に貢献

セグメント別 収益変動

繊維事業

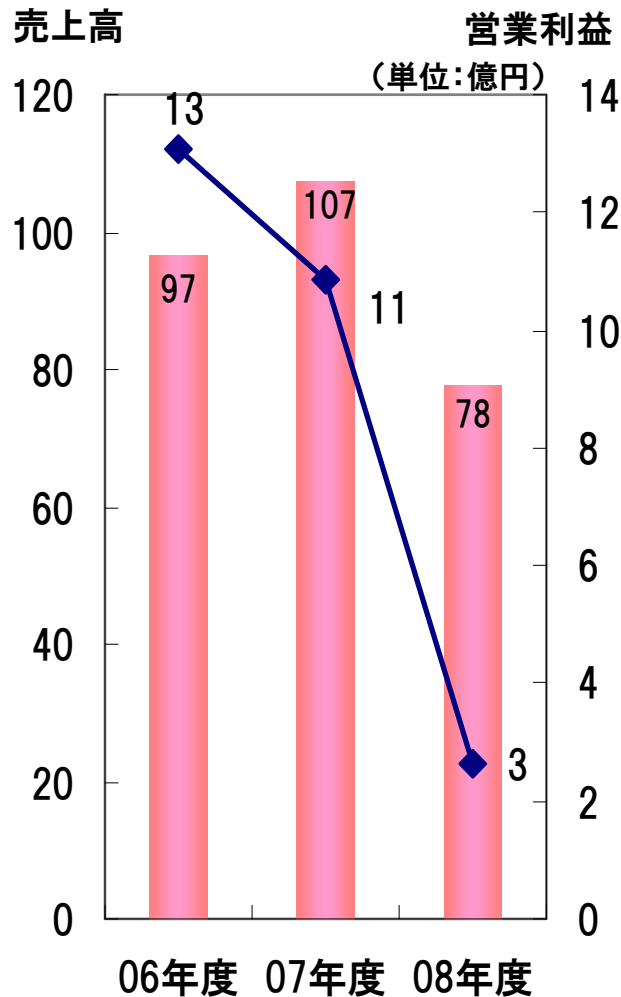


合成 繊維	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ポリエステル高強力系の販売は横ばい、それ以外のナイロン、ポリエステル各素材は全般的に販売減少 ◆ 原燃料価格高騰に対し価格改定が十分進捗せず、採算が更に悪化 ◆ ビニロン繊維のFRCは引続き堅調（増設機台は予定通り10月稼働）
天然 繊維	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ユニフォーム、一般衣料ともに低迷、特需関連の受注の端境期でもあり収益の減少大

(単位: 億円)	売上高			営業利益		
	08年度 4~9月	07年度 4~9月	増減	08年度 4~9月	07年度 4~9月	増減
ユニチカファイバー	184	193	▲ 9	▲ 3.0	2.3	▲ 5.3
ユニチカテキスタイル	86	105	▲ 19	▲ 2.5	0.5	▲ 3.0

セグメント別 収益変動

生活健康・他事業



生活健康	減収 利益 横ばい	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康補助食品、サプリメント商品は減少基調 ◆セラミド、アラビノース等の食品機能素材が大手ユーザーで採用される等用途拡大が進む ◆メディカルは医材分野での償還価格改定の影響で収益減 ◆酵素分野は国内外で伸長みられる
その他	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆マンション販売、営業用不動産関連の収益が減少 ◆設備技術等、その他事業で収益減

※その他事業

不動産関連(マンション販売、賃貸、営業用不動産開発)
設備技術、情報システム等

2008年度 通期決算予想

(単位:億円)	2008年度 通期予想	2007年度 通期実績	前年度比 増減	4~9月 前年 同期比
売上高	2,330	2,347	▲ 17	▲ 38
営業利益	90	116	▲ 26	▲ 19
経常利益	55	80	▲ 25	▲ 19
当期純利益	10	16	▲ 6	▲ 12

◆前年度比減収減益の予想

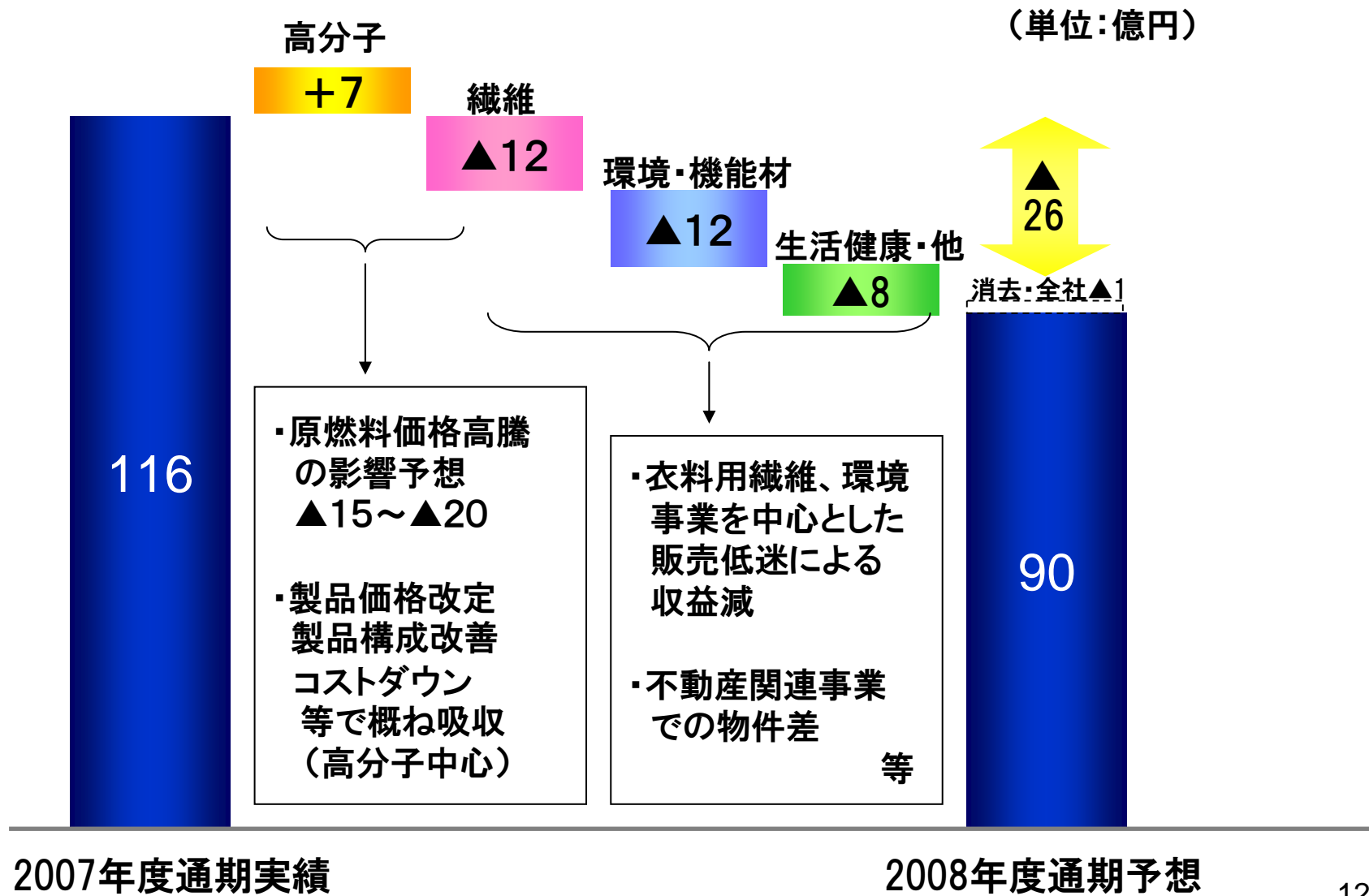
繊維事業、環境事業を中心に収益減の基調が続く
 原燃料価格影響の緩和、コストダウン効果等によりマイナス
 幅は徐々に改善

◆通期原燃料価格高騰の影響は▲15～▲20億円を想定

セグメント別収益変動 通期予想

(単位:億円)	売上高			営業利益		
	2008年度 通期予想	2007年度 通期実績	増減	2008年度 通期予想	2007年度 通期実績	増減
高分子	770	709	+61	78	71	+7
環境・機能材	330	352	▲ 22	20	32	▲ 12
繊維	990	1,046	▲ 56	5	17	▲ 12
生活健康・その他	240	241	▲ 1	21	29	▲ 8
消去・全社				▲ 34	▲ 33	▲ 1
合計	2,330	2,347	▲ 17	90	116	▲ 26

通期 営業利益増減予想(セグメント別)



- ・原燃料価格高騰の影響予想 ▲15~▲20
- ・製品価格改定 製品構成改善 コストダウン 等で概ね吸収 (高分子中心)

- ・衣料用繊維、環境事業を中心とした販売低迷による収益減
- ・不動産関連事業での物件差 等

設備投資等の状況

(単位:億円)	2008年度		2007年度	
	第2四半期	通期予想	中間期	通期
減価償却費	34	73	31	65
設備投資	50	81	34	72

	2008年度		2007年度	
	第2四半期	通期予想	中間期	通期
高分子	9	18	13	19
環境・機能材	10	16	10	20
繊維	21	31	6	15
生活健康・他	9	16	5	16

今後の課題

◆高分子・機能材事業での収益性の更なる改善

- ・原燃料価格高騰影響の吸収(適正価格維持、構成改善等)
- ・ナイロンフィルムグローバル展開の強化
- ・高機能樹脂、産業用繊維等の拡大
- ・無機系素材の強化(ガラス関連素材、活性炭繊維等)

◆不採算分野の事業見直し

- ・衣料用繊維事業、環境事業を中心とした事業・製品構成及びコスト構造の見直し 等

◆資産効率化と財務体質改善

- ・資産圧縮、有利子負債返済の推進、資金効率化 等



次期中期計画に向けた課題

ご注意

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。